



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山田 勝重

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	49,393	2.1	3,691	1.4	4,039	2.4	2,855	11.3
2020年3月期第3四半期	50,478	2.5	3,642	14.5	3,943	13.4	3,219	0.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,103百万円 (5.4%) 2020年3月期第3四半期 2,943百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	95.31	
2020年3月期第3四半期	107.57	107.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	83,502	70,259	84.1
2020年3月期	81,068	68,376	84.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 70,259百万円 2020年3月期 68,376百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		21.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	1.3	4,700	4.7	5,000	3.3	3,500	12.9	116.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 味富士株式会社

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	34,991,521 株	2020年3月期	34,991,521 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	5,035,042 株	2020年3月期	5,039,949 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	29,953,927 株	2020年3月期3Q	29,932,072 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。なお、株式会社日本カストディ銀行は、JTCホールディングス株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
3. 補足情報	8
(1) 販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が長期化し、経済活動は大きく制限されました。緊急事態宣言解除後は、GoToキャンペーンの実施等により個人消費には一時的に持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の国内再拡大により厳しい状況が続きました。

食品業界におきましては、外出自粛要請や営業時間短縮の要請等による業務用チャネルの低迷、巣ごもり消費による中食、内食需要の増加、テイクアウト、通信販売、宅配などの利用増加等、経営環境が大きく変化しました。

このような環境の中、当グループにおきましては、不確実な時代においても安定的な収益が確保できる生産性の高い新しい会社づくりに注力するとともに、コロナ禍で迎えた12月商戦に全社一丸となって取り組みました。

売上高は、ヨーグルト製品が前年実績を上回りましたが、惣菜製品、豆製品、昆布製品、デザート製品が前年実績を下回ったことから、493億93百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

利益面では、材料費及び人件費等の減少により売上原価率が改善したことから、営業利益は36億91百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益は40億39百万円（前年同四半期比2.4%増）となりましたが、前第3四半期連結累計期間に特別利益として計上した投資有価証券売却益の影響が大きく、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億55百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品では、2019年8月1日より連結子会社となった株式会社フーズパレットの中華惣菜の売上高が加わり、また「おぼんざい小鉢」シリーズの伸長が継続しましたが、日配惣菜が前年実績を下回ったことから、惣菜製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

昆布製品では、「ふじっ子煮」シリーズの発売50周年キャンペーン及びふじっ子(塩こんぶ)のTVCM放映等を実施して顧客層の再拡大に取り組みましたが、昆布製品全体の売上高は業務用チャネルにおける佃煮や塩こんぶの販売が大きく減少したこと等により、前年実績を下回りました。

豆製品では、煮豆は前年実績並みとなりましたが、水煮・蒸し豆はPR効果で飛躍的な伸長となった前年実績を上回ることができず、豆製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

ヨーグルト製品では、通販チャネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」が前年実績並みとなりましたが、受験生応援の「勝つび海ヨーグルト」キャンペーンを実施した「カスビ海ヨーグルト」シリーズの継続的な伸長に加え、2020年3月に新発売した「大豆で作ったヨーグルト」のTVCM放映などプロモーションを強化したことから、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

デザート製品では、「フルーツセラピー」において、期間限定商品「温州みかん」等の投入により品群全体の活性化に注力しましたが、デザート製品の売上高は前年実績を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億34百万円増加し、835億2百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億97百万円増加し、338億11百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20億36百万円増加し、496億91百万円となりました。これは主に、関東工場の新棟建設関連の建設仮勘定の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億61百万円増加し、118億7百万円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、14億35百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億82百万円増加し、702億59百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.3%から84.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初(2020年3月期決算発表)の予想どおり推移すると見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,605	11,180
受取手形及び売掛金	9,828	12,951
商品及び製品	946	1,259
仕掛品	335	258
原材料及び貯蔵品	7,348	7,555
その他	350	608
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	33,414	33,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,950	38,198
減価償却累計額	△24,364	△24,987
建物及び構築物(純額)	13,586	13,211
機械装置及び運搬具	30,405	30,922
減価償却累計額	△19,120	△20,167
機械装置及び運搬具(純額)	11,285	10,755
工具、器具及び備品	2,153	2,177
減価償却累計額	△1,765	△1,751
工具、器具及び備品(純額)	388	425
土地	14,074	13,821
建設仮勘定	2,148	5,172
有形固定資産合計	41,483	43,386
無形固定資産		
投資その他の資産	349	367
投資有価証券	3,941	4,226
繰延税金資産	340	344
その他	1,546	1,372
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	5,821	5,938
固定資産合計	47,654	49,691
資産合計	81,068	83,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,928	4,531
未払金	5,052	5,189
未払法人税等	1,023	832
未払消費税等	6	281
賞与引当金	494	122
預り金	156	411
その他	585	439
流動負債合計	11,246	11,807
固定負債		
長期末払金	199	199
退職給付に係る負債	1,183	1,185
従業員株式給付引当金	61	50
固定負債合計	1,445	1,435
負債合計	12,691	13,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,499	7,499
利益剰余金	60,118	61,741
自己株式	△6,910	△6,898
株主資本合計	67,273	68,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,425
退職給付に係る調整累計額	△88	△74
その他の包括利益累計額合計	1,102	1,351
純資産合計	68,376	70,259
負債純資産合計	81,068	83,502

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	50,478	49,393
売上原価	30,120	28,915
売上総利益	20,357	20,477
販売費及び一般管理費	16,715	16,786
営業利益	3,642	3,691
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	170	180
受取賃貸料	77	72
売電収入	41	42
その他	52	97
営業外収益合計	342	393
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	20	19
売電費用	17	16
その他	1	8
営業外費用合計	41	45
経常利益	3,943	4,039
特別利益		
固定資産売却益	1	12
投資有価証券売却益	858	150
国庫補助金等収入	59	46
特別利益合計	919	210
特別損失		
固定資産処分損	149	117
投資有価証券売却損	15	0
関係会社清算損	-	52
その他	6	-
特別損失合計	171	171
税金等調整前四半期純利益	4,691	4,078
法人税、住民税及び事業税	1,571	1,336
法人税等調整額	△99	△113
法人税等合計	1,471	1,223
四半期純利益	3,219	2,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,219	2,855

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,219	2,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	233
退職給付に係る調整額	13	14
その他の包括利益合計	△276	248
四半期包括利益	2,943	3,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,943	3,103
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であった味富士株式会社は2020年12月21日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。なお、清算終了までの損益計算書については連結しております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	17,015	33.7%	16,450	33.3%	△564	22,684	34.3%
昆布製品	13,870	27.5%	13,433	27.2%	△436	18,060	27.3%
豆製品	10,683	21.2%	10,237	20.7%	△446	13,767	20.8%
ヨーグルト製品	5,203	10.3%	5,636	11.4%	433	6,907	10.4%
デザート製品	2,475	4.9%	2,232	4.5%	△242	3,165	4.8%
その他製品	1,230	2.4%	1,402	2.9%	172	1,586	2.4%
合計	50,478	100.0%	49,393	100.0%	△1,085	66,171	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。